

モリモリ
NAKA!

那賀町

地域ぐるみ脱炭素経営支援体制プロジェクト

第1回ワークショップ 振り返りレポート

■プロジェクト概要

本事業は、2050年カーボンニュートラル実現に向け、中小企業や地域経済の発展・持続性のため地域ぐるみ脱炭素体制を構築するモデル事業です。森林率95%の徳島県那賀町を舞台に、地域ぐるみで脱炭素社会を目指す新たなチャレンジが始動しました。企業・行政・支援団体が連携し、経営の効率化と環境配慮の両立を目指します。

■第1回ワークショップ

開催報告日時：2025年9月11日（木）14:00～16:30

会場：那賀町コミュニティセンター

参加者：地域企業・団体担当者

資料提供：那賀町観光協会

■WS1 事前アンケート結果概要

第1回ワークショップに向けて実施した事前のアンケートでは、参加者の皆様から貴重なご意見をいただきました。プロジェクトへの期待、現在の取り組み状況、新しい事業への関心度など、多角的な視点から地域の現状と課題を把握することができました。

新事業への関心

93%

とても関心あり
少し関心あり

プロジェクト理解度

88%

だいたい分かった
とても分かりやすかった

会社への影響

長期 87%

影響あり

特に注目すべきは、**93%の参加者が新しい事業のあり方に高い関心**を示していることです。また、地域資源の活用や経営効率化による会社への影響についても、長期的にプラスの影響があると認識されています。

■講演①～③ 脱炭素経営に係わる多様な取り組みを『知る』

環境省、徳島県、民間事業者の方々から現状の施策、多様な取り組みを紹介いただきました。

講演①



◎脱炭素ってなに？：地球温暖化、日本の目標、脱炭素×地方創生による取組など

講演②



◎徳島県の施策：GX推進、ZEB化、食品ロス削減、脱炭素経営支援の取組など

講演③



◎NAKAWOODの挑戦：木頭杉のウッドボード、地域との連携の取組など

●ワークショップ当日の様子と今後の展望

1 講演・アイスブレイク

環境省四国事務所、徳島県、株式会社那賀ウッドによる講演と脱炭素ゲームを通じた参加者同士の交流を深めました。予定時間を大幅に超える盛り上がりを見せ、充実した学習機会となりました。

2 個人・グループワーク

経営課題から地域の「お宝」発見、10年後の理想像まで、段階的なワークを実施。参加者の内省から協働による課題解決まで、具体的なアクションにつながる未来へのヒントを探りました。

3 成果の共有

各グループの発表を通じて、地域全体の課題と可能性を共有。真の課題として技術・ノウハウ、資金・コスト、仕組み・制度、意識・文化の4つの枠組みで整理しました。



■未来へのヒント

- 1) 技術・ノウハウ：木材の魅力発信、交流施設
- 2) 資金・コスト：設備更新、開発費調達
- 3) 制度・仕組み：協議会、情報共有
- 4) 意識・文化：誇り・危機感、ブランディング
- 5) アイデア：SNS・動画発信、地域アクティビティ

●主要な課題と解決の方向性

▶ 経営資源の制約

若手・専門職の確保困難（12件）と資金調達・予算制約（6件）が最も深刻な課題として浮上しました。

▶ 経営環境の変化

燃料・材料費高騰、人件費上昇、人口減少により経営が圧迫されている状況が明らかになりました。

▶ 地域の魅力発信

森林資源や伝統技術などの「お宝」を活かした新しいビジネスモデルの構築が求められています。

●10年後の理想像



住みやすい町

若者が働きたいと思える職場づくりと移住促進による地域活性化



循環型林業

経済林と環境林のゾーニングによる持続可能な林業の推進



体験型観光

アウトドアやアドベンチャー観光のメジャー化による地域ブランド化

● 次回ワークショップに向けて

今回明らかになった課題と方向性を踏まえ、より具体的なアクションプランの策定と実現可能な支援体制の構築を目指します。

参加者の皆様の積極的な取り組み意欲を活かし、「モリモリNAKA」プロジェクトをさらに発展させていきましょう！

